

## 市長の窓

しげ のぶ  
滋宣の

ほう ちゅう かん



イラスト  
小熊真二さん

あん ちゅう めい

## “忙中閑あり暗中明あり”

その 34

### ～梅雨～

秋田県も6月中旬に梅雨入りしましたが、今（原稿を書いている6月下旬）は、晴れ間が広がり、気象上では「梅雨の中休み」といい、俳句では「梅雨晴れ間」と呼ぶそうですが、それもつかの間、この稿を読んでいる頃は、またじめじめとした日に戻っているのでしょうか？

「つゆ」の語源は露の意からと梅が熟する意で「つはる」からとする説、物が腐る意で「つひゆ（漬）」からとする説など、諸説があります。

梅の実が熟する頃に降る長雨ということで漢字では「梅雨」と当てています。「梅雨」は「つゆ」のほかに「ばいう」とも読み、かびが生える時期でもあることから「黴雨」とも書きます。

ほとんど雨が降らない梅雨を「空梅雨」とか「旱梅雨」、梅雨明け間近になって、再び梅雨のような天気に戻ることを「戻り梅雨」、「送り梅雨」といいます。

「梅雨」の時期は鬱陶しいものですが、この頃の雨が稻や野菜にとって大切であるばかりでなく、夏の渴水期のために必要な水を貯める機能があることも忘れてはなりません。

かんしゃくの くの字を取って ただ感謝  
(読み人知らず)

能代市長 齊藤 滋宣

6月3日、ブナの森ふれあい伝承館でニツ井地域防災訓練を行いました。

開会式前の様子▶

